

平成18年度事業計画（案）

I 総務・渉外

1. 雑誌価格高騰への対応
2. 医学図書館員教育の強化
3. 認定資格制度の本格運営
4. 機関会員、個人会員の入会促進
5. 新規受託事業の推進
6. 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）の具体的協議の開始
7. 日本薬学図書館協議会等との連携強化
8. 国際交流の推進
 - （1）韓国医学図書館協議会（KMMLA）との連携
 - （2）中国高等院校医薬図書館協会との連携
 - （3）その他の国、機関との連携
9. その他

II 広報

1. 広報方針案の作成
2. ホームページの更新・管理
3. 機関誌「医学図書館」の協会ニュースの利用した広報活動
4. 諸事業、各委員会・地区会活動の会員への報告
5. 国内外の関連団体との情報交換
6. 協会の各事業の宣伝、および一般への情報提供
7. その他
ホームページや会員メーリングリストを利用した連絡が中心となってきたが、インターネットを利用しない会員へ必要な情報の伝達が漏れないように注意する。

III 組織・制度

1. 評議員及び評議員会の定義と位置付けについて、それに代わる新しい制度の立案も含め、継続して検討する。
2. NPO 化に伴う規程類整備の最終段階にあたり、制度変更の影響を具体的に把握し、理解の徹底を図るとともに、必要な修正や調整を行う。
3. 上記の改正や修正が、協会全体の改革と将来ビジョンを議論する好機となるよう会員の積極的な発言を促し、建設的な意見を発掘する。
4. その他、理事会から付託された事項の検討を行う。

IV 出版・機関誌編集

出 版

1. 「現行医学雑誌所在目録 2006」刊行
2. 「アメリカ国立医学図書館蔵書構築マニュアル（仮題）」刊行
3. 「JMLA 叢書4」等の新企画の立案、刊行
4. 「現行医学雑誌所在目録」Web 版の刊行について協議
5. その他の企画の検討

機関誌編集

1. 機関誌「医学図書館」の発行
53 巻 2 号（平成 18 年 6 月発行予定）第 12 回研究会発表記事を中心に
53 巻 3 号（平成 18 年 9 月発行予定）特集：図書館協力（仮）
53 巻 4 号（平成 18 年 12 月発行予定）特集：（未定）
54 巻 1 号（平成 19 年 3 月発行予定）特集：（未定）
2. 入門講座新企画の開始に向けての準備を行う。
3. 編集及び校正作業の検討を行う。

V 企画・調査

1. 「第77次加盟館統計（平成 17 年度）」の編集・発行
 - 1) データ依頼 6月初旬予定
 - 2) 原稿締切 7月中旬予定
 - 3) 発行 9月末予定
 - 4) データ閲覧について
協会ホームページ（会員限定ページ）で会員提出（編集前）データを公開予定
完成版についても、データ版を中心とすることとし、冊子の発行は中止する
ただし、冊子を希望する会員には実費負担で配布する
2. 第57回重複雑誌交換事業の実施
 - 1) データ依頼 6月初旬予定
 - 2) データ提出期限 7月中旬予定
 - 3) 交換実施 9月中旬開始、10月末終了予定
 - 4) 実績報告期限 11月下旬予定
 - 5) 事業のWeb展開について
JMLA ホームページを通じた事業実施が可能かどうか、広報委員会等と協議しながら検討を図る。
3. 「要覧 2006」の編集・発行
平成 18 年 11 月末発行予定
細則・規程の改正を掲載する。
4. アンケート調査アーカイブの整備
アンケート調査アーカイブのデータを整備し、届け出方法等の周知を進める
5. その他、協会から要請のあった事業

VI 雑誌

1. 雑誌委員会と分担購入委員会を統合して「雑誌委員会」とし、双方の事業を効率的に進める。
2. 高額外国雑誌の分担購入による効果を具体的な数値で示した目標案を作成する。
3. 分担購入保存に関して国内外の事例調査を実施し、本事業の今後の進め方を検討する上での参考とする。
4. 分担購入事業の活動の経緯や目的について会員からの理解を得るために、協会ホームページや機関誌を利用した広報を進める。
5. 平成 19 年度分担購入事業参加館調査を実施する。
6. 日本薬学図書館協議会（JPLA）雑誌委員会と協力しコンソーシアムを推進する。
7. コンソーシアム説明会については見直しをおこない存続させる。
8. 他コンソーシアムとの協力を推進する。
9. その他

VII 教育・研究

1. 第 13 回医学図書館員基礎研修会（事務局：慶応義塾信濃町メディアセンター）
期 日：2006 年 8 月 2 日（水）～8 月 4 日（金）
会 場：慶応義塾大学信濃町キャンパス 新教育研究棟 2 階講堂 1 ほか
2. 第 13 回医学図書館研究会・継続教育コース（事務局：東北大学附属図書館医学分館） 日本薬学図書館協議会協賛
期 日：2006 年 11 月 8 日（水）～10 日（金）
会 場：東北大学金属材料研究所 講堂
3. 第 3 回情報プロフェッショナルシンポジウム（略称：INFOPRO2006）
期 日：2006 年 11 月 16 日（木）～17 日（金）
会 場：日本科学未来館
4. 第 8 回図書館総合展（会 期：2006 年 11 月 20 日（月）～22 日（水））
日本薬学図書館協議会との共催によるフォーラム開催
会 場：パシフィコ横浜
期 日：2006 年 11 月 22 日
5. 海外研修
2006 年 5 月海外研修者を募集予定
6. 研究助成の募集
7. 協会賞・奨励賞の選考
8. 研修会運用マニュアルの策定
9. 規程類の改定（継続）
 - 1) 教育・研究規程
 - 2) 研究助成規程
 - 3) 海外研修規程
 - 4) 奨学基金規程
 - 5) 協会賞、奨励賞授与取り扱い規程
10. 日本薬学図書館協議会との提携事業のあり方の検討

VIII 認定資格制度

1. 「ヘルスサイエンス情報専門員」申請受付及び認定審査
 - 1) 第6回申請受付 2006年7月1日～7月31日
 - 2) 第7回申請受付 2007年1月1日～1月31日
2. 認定資格制度の見直し作業の継続
 - 1) 認定資格規定等の見直し
 - 2) ポイント表等の見直し

IX 国立ライフサイエンス情報センター（仮称）の推進

1. 関連団体との連携協力を深め、具体的な事業（ポータルサイト構築、研修企画など）を進める。
2. 事業趣旨の広報を進めるために「一般市民への保健医療情報の提供」をテーマに、シンポジウムなどを開催する。
3. 「国立ライフサイエンス情報センター（仮称）」設置推進へ向けて、必要な調査研究を行う。
4. 国の担当部局とのチャンネルづくりを進める。

上記は「国立医学図書館（仮称）検討委員会『最終報告』」の「提言」にそって進めるものである。

X 財政

1. 収入
「図解PubMedの使い方第3版」の収入を中心に購読料収入を前年度比約190万円の増額を見込んでいる。
2. 支出
前年度実績を考慮しつつ収入総額を上回ることをしないよう配慮している。
3. 全体
収支バランスを考慮する。